

糖尿病について

済生会今治病院の内科部長、上田晃久医師
が糖尿病の診療や患者数、また病気の理解
や治療のことなどを教えてくれました。



▲上田晃久てるひさ医師

人は特に高齢化の影響を受け2000万人の糖尿病患者が存在すると推定されています。糖尿病が強く疑われる人の中で、診療を受けている人は76.6%とされ、十分な診療を受けていない人（特に40〜60歳男性）が多いです。糖尿病は放置することにより網膜症・腎症・神経障害などの合併症を引き起こし、失明したり透析治療が必要です。眼科受診の啓蒙により失明される人は減少していますが年間3000人が失明さ

れ、糖尿病が原因で透析導入になる人は年間1万6000人と未だに増加しています。糖尿病は正しく理解し、管理すれば「一病息災」という言葉があるように健康維持可能です。

しかし、血糖の管理だけでは合併症の予防が難しかったり、薬で全てを管理することが不可能な病気でもあります。糖尿病治療の根幹は「知ること」にあります。糖尿病管理悪化は一つの要因ではな

く、個々に応じた様々な病態・背景を判断し

た上での対応が大切です。糖尿病は放置せず正しく対応すれば、健康寿命も延ばすことが可能だと思います。ご心配な事があればかかりつけ医・糖尿病専門医療機関へ相談してみてください。

社会福祉法人



恩賜財団 済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1番6号 <http://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

☎0898-47-2500

